

# 指定管理施設の管理運営評価表（評価対象年度：令和2年度）

担当部署名	産業文化部 林業振興課
評価対象期間	令和 2年 4月 1日 ～ 令和 3年 3月31日
評価対象年度指定管理料	27,349,503 円

## 1. 施設の概要等

施設の概要	名 称	松阪市森林公園
	所 在 地	松阪市伊勢寺町1678番地
	設置目的	自然に親しむ環境を市民に提供するとともに、森林資源の活用を図り、併せて地域の経済的向上に資することを目的とする。
	設備の概要	○施設面積5.022ha    ○バンガロー6棟    ○貸出テント5張・持込テント15張 ○共同浴場（宿泊者のみ利用可）    ○炊事棟    ○バーベキューハウス ○木工教室    ○食堂    ○芝生広場（遊具有）    ○親水公園    ○展望台

## 2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名 称	松阪飯南森林組合
	所 在 地	松阪市飯南町粥見5725番地3
指定管理業務の内容		○公園の運営企画、利用及び行為の許可、施設の利用料金の徴収等、維持管理に関する業務。
業務運営実施状況	管理業務の実施状況	○バンガロー（宿泊）113棟、設置テント26張、持込テント82張の利用がありました。 ○木工教室の利用者は、410人でした。 ○登山関連のイベントを4回、椎茸関連のイベントを1回、開催しました。 ○松阪市主催の「親子防災キャンプ」を開催しました。
	サービスの質の向上	○登山客に安全な登山をして頂ける様に案内図の提供を行うとともに声掛けにつとめました。 ○各団体に向けて、「仕出し弁当」の営業に努めました。 ○喫煙場所を定めて、分煙に取り組みました。 ○「新型コロナウイルス」感染拡大防止の観点から、「供用部分」の除菌を徹底しました。 ○和式トイレの洋式化（計4基）
	施設・設備等の維持管理	○持込テント台（デッキ等）修繕 ○総合遊具修繕 ○水源地濾過器の修繕 ○食堂棟（大）換気扇取替 ○浄化槽修繕
指定期間	平成 28年 4月 1日 ～ 令和 3年 3月 31日	

（単位：円）

		事業計画	事業収支実績（税抜き額）					
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業収支推計	収入	指定管理料	26,620,371	26,620,371	26,620,371	26,574,076	26,481,482	24,863,185
		食堂等売上収入	10,410,000	10,202,290	10,393,515	10,547,264	9,339,745	4,553,864
		利用料金収入	3,450,000	3,391,684	2,975,568	2,899,173	2,698,375	1,165,731
		その他収入	2,759,000	2,704,095	2,512,471	2,110,809	2,146,706	2,719,704
		その他委託料	0	0	0	0	0	70,000
		計 (A)	43,239,371	42,918,440	42,501,925	42,131,322	40,666,308	33,372,484
支出		人件費	25,770,000	25,919,222	24,698,780	26,220,414	21,881,556	20,756,727
		運営費	7,501,000	7,414,264	6,912,961	6,154,407	8,310,720	4,723,700
		施設維持費	5,231,000	5,277,861	5,483,660	4,920,252	5,989,255	5,006,255
		仕入	4,733,000	4,572,647	4,888,742	4,701,208	4,072,495	2,060,509
		計 (B)	43,235,000	43,183,994	41,984,143	41,996,281	40,254,026	32,547,191
収支差引額 (A) - (B)		4,371	-265,554	517,782	135,041	412,282	825,293	

### 3. 指定管理者業務運営項目別評価

評価項目		指定管理者自己評価		担当部署評価		
		採点	判定	採点	判定	
管理業務の実施状況	①施設の目的や基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されていたか。 また、職員は理解していたか。	3	C	3	C
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	3		3	
	③利用者数	利用者数は当初目標数を達成されたか。	2		2	
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	3		3	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。	3		3	
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	4		3	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	3		3	
	⑧地域の振興・活性化	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を行ったか。	4		2	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	自主事業や運営方法の工夫等利用者数増加に向けた具体的な取組みはあったか。(注1)	4	B	2	C
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないように、施設のサービス水準を確保するための取組みを行ったか。	3		3	
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	3		3	
	④利用促進・PR	当該施設・事業について、広報誌やパンフレットを作成するなど、具体的な取組みが実施され、積極的な利用促進が図られたか。	4		2	
	⑤非常時・緊急時の対応	事故、災害等の緊急事態発生時の危機管理マニュアルの整備や対応体制の確立はされていたか。	3		3	
	⑥苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。 また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	4		3	
	⑦自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	4		3	
	⑧利用者アンケートの実施	利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望、満足度の把握に努めたか。 課題がある場合は対応策を講じたか。	3		3	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持がされていたか。	4	B	3	B
	②備品・什器等の保守点検	備品・什器等が適切に管理され、良好な機能が保持されていたか。	4		3	
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合には、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じたか。	4		4	
	④樹木・植栽等管理業務	草取りや除草等を行い、利用者が快適に利用できるような良好な景観が保たれていたか。	4		4	
	⑤清掃業務	敷地内は全て利用者が快適に利用できるよう清潔な状態が保たれていたか。	4		4	
	⑥鍵管理	鍵の管理は適切であったか。	5		3	

【(注1)のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-(2)の採点基準にて評価】

#### 4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
<p><b>【努力した点・成果等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者、障害者の方が来園される際に積極的に声を掛け車両の乗り入れや車いすを押す手助け等を行い安心して来園できるよう心掛けた。</li> <li>○宿泊者の安全対策を第一に考え、テント台の修繕に努めました。</li> <li>○喫煙所を設けて、園内の分煙化に努めた。</li> <li>○「新型コロナウイルス」完成拡大防止の観点から、共用部分の除菌の徹底を行いました。</li> <li>○12月からは、「新管理者」に対する引き継ぎ等に尽力しました。</li> </ul>	<p><b>【評価すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言発令時等において、来園者の混乱を招かないよう柔軟に対応され、適切な運営に努められた。</li> <li>○各種公園設備の恒常的な安全点検を実施し、来園者が安全・安心に利用できるよう努められた。</li> <li>○地域に愛される施設となるよう、地域の自治会や地域住民との連携を密にし、サービスを提供された。</li> </ul>
<p><b>【改善すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の老朽化が進んでいるので計画的な修繕、改修を図り安心安全な公園管理・運営を行う。</li> </ul>	<p><b>【指導すべき点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○SNS等を活用し、現状運営のフィードバックに努めるとともに、施設の魅力を発信し、来園者増加を図られたい。</li> <li>○特に閑散期における機会損失の抑制に繋がるよう、来園者のニーズを捉え、新たなサービスを実現できるよう尽力されたい。</li> </ul>
<p><b>【所属長意見（今後の方向性等）】</b></p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でありました。来園者数の推移としては、4月下旬から5月における緊急事態宣言発令時の減少をピークに、その後、減少傾向が続きましたが、11月以降は平年並みに回復し、最終的には68,324人と対前年比19,234人の減となりました。（令和元年度来園者数：87,558人）</p> <p>今後、更なる集客に向けた新たな取組が必要であると同時に、社会情勢・緊急事態等を見極めた臨機応変な運営手法が求められます。加えて、近年堅調であるアウトドア・キャンプのトレンドやニーズを捉え、特に冬場の閑散期における集客を図ることで「繁閑平準化」と、ポストコロナを見据えた、運営手法の構築が必要です。今後についても、リスクマネジメント及び情報発信のアプローチとして、各種メディア・SNS等の積極的な活用により、周囲の恵まれた観光資源を補完すべく、森林活動の拠点としての更なる機能発揮を期待します。</p>	

点数	採点基準	
5	優良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されているとともに、独自の新たなサービスが提供されている。
4	良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている。
3	普通	協定等で定めた水準のサービスが提供されている。
2	やや劣る	協定等で定めた水準のサービスが一部提供されていない。
1	劣る	協定等で定めた水準のサービスが多く業務で提供されていない。早急に改善が必要である。

評価	評価の判定基準
A	5が半分以上かつ残りも3以上
B	全てが3以上
C	2が含まれる
D	1が含まれる